前回のおさらいもかねて一般に水溶液には次のような性質がある。

　　　　①　（　透明　）である。　（奥が見える）　　②　濃さは溶液のどの部分でも（　同じ　）。

さらに、Ｐ６２の下の図を見よう！

　食塩水の質量は、水に溶かす前の食塩と水の質量を合わせたものに（　等しい　）。

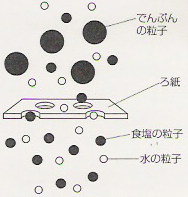
　　　つまり（　　食塩　　の質量）　＋　（　　水　　の質量）　＝　（　　食塩水　　の質量）

1種類の純粋な物質でできている物質を ２種類以上の物質が混じりあっている物質を

（　　純物質　　）という。　　　　　　　　　　　　（　　混合物　　）という。

問題　次の物質のうち純物質は○で囲み、混合物は□で囲みましょう！

　　　砂糖水　　銅　　エタノール　　炭酸飲料水　　二酸化炭素　　水道水　　ワイン　　純水



ろ紙などを使って固体と液体を　　　　　　　　　　　　　　水溶液を（　蒸発皿　）

分ける操作を（　ろ過　）という。　　　　　　　　　　　　薬さじなどに入れ、ガス

ろ紙には非常に細かい穴が開いて　　　　　　　　　　　　　バーナーなどで加熱して

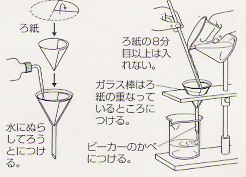
いる。水に溶けて、ろ紙の穴より　　　　　　　　　　　　　水を蒸発させる。火加減

小さいものだけが通り抜けること　　　　　　　　　　　　　に注意すること。

ができる。

つまり、ろ紙の穴がの役割をしている。　　　　　　　すると蒸発皿や薬さじに、溶質が残る。

**目的**・・・物質の分離の方法である「　ろ過　」をマスターする。



**準備**・・・ろうと台（スタンド）　ガラス棒　　ビーカー②

　　　　　ろ紙　ろうと　食塩　片栗粉（または硫黄）

　　　　　薬さじ　ガスバーナー　マッチ　燃えさし入れ

**方法**・・・①右図のようにセットしておく。位置関係が重要。

　②ビーカーに水を入れ、食塩と片栗粉をよく溶かす。

　③ガラス棒の先をろ紙の厚い部分につけ、ガラス棒

を伝わらせながら②で作った水溶液を注ぎこむ。

　　　　　④ろ過終了後の水溶液を薬さじに入れ、ガスバーナーで加熱し、水を蒸発させる。

　１年　　組　　番　氏名